

STORY01：きっかけはパズル道場



広大附属・ND清心・女学院中学校 合格

(三育小学校 女子)

私は1年生でパズル道場に入って、2年生から入塾しました。

入塾すると毎日自習室が使えるので、低学年の頃は両親が働いている間はいつもそこで過ごしていました。そして私が算数を好きになったきっかけはパズル道場です。「かしこくなるお守り」の赤と青が欲しくて一生懸命にWebで進級していました。ゲーム感覚で楽しめて制限時間内に問題を解かないといけないスリルがたまらなく好きでした。

4～5年生の間は、コロナが流行して外出できなかったのがきっかけで予習ナビをはじめました。そして普段の授業と併用することで、より理解が深まりました。6年生になって受験が近づいたところ、暗記テストや判定テストなどのがんばりすぎで疲れた時もありますが先生の授業での面白いトークと、同じ中学受験をたたかう同志がたくさんいる活気のあるクラスでモチベーションが上がり、最後まで良い雰囲気の中頑張ることができました。

入試は3日間続きましたが、初日に試験会場の前で体調をくずしてしまいそうになり、すごく緊張して、遅めに会場に入りましたが、そんなとき、白いコートを着た先生を見つけると一気に落ち着きました。温かい言葉とカイロをもらって有難かったです。最終日の第一志望校を受ける前に、皆で集まって最後の勉強をして先生からの激励の言葉を頂いたときは今までの頑張ってきた事を思い出して泣きそうになりました。全力で試験を受けて無事に合格できたのは先生方のおかげです。努力は必ず報われるものなんだと本当に続けてきて良かったです。家族と先生方、今までお世話になり有難うございました。中学生になっても頑張ります。

【ご家族のコメント】

受験も終わり、塾から配布して頂いたプリントを一冊ずつファイルから取り出し、ホッチキスを外してプリントの束を紐で縛る作業を行いました。大木スクールの中学受験情報量の多さに改めて驚くと共に、このたくさんのプリントを必死にこなして第一志望校に合格できた娘を誇りに思います。

娘は少し遠慮がちな性格で、わからない問題を先生に積極的に質問することが苦手な様子。部分的に予習ナビを繰り返し視聴するか、解答の解説を読んで克服していましたが6年生の夏休みから、個別を申し込むと今までよりも先生との距離が縮まり質問がしやすくなったようです。塾での空気も活気に満ちており、毎日勉強をしているにも関わらず楽しそうにその様子を聞かせてくれていました。

親が出来ることと言えば、プリントの整理や暗記のチェック、丸付けと間違えた部分に付箋を張り付ける、そして健康管理をするぐらいでしたが大きく反抗することもなく、ひたすら努力していました。

塾にすべてをお任せしていましたが正解でした。大木スクールの先生方の熱意のあるご指導のもと無事に中学受験を最高の形で終えることができたことを心より深く感謝申し上げます。

STORY02：苦手な科目に自信をつけるべし



広大附属・学院・修道・城北中学校 合格

(皆実小学校 男子)

ぼくは小4で入塾しOクラスから始めて、1回目のクラス替えでGSクラスになり、4年の夏休み前からはずっとZクラスでした。暗記が得意で社会が好きでしたので、暗記テストも年代暗記のテストも順調にこなし入試必勝編も全て手に入れました。

しかし、算数は大の苦手でした。だからまずはいままで出ていなかった補習に残るようにしました。それまではわかっていない問題があっても解決しないままになっていることもありましたが、補習でしっかり質問するようになって成績が上がり始めました。でも他の科目の勉強も忙しくなり計算テキストを最後までやりきれなくなってから、また成績が下がってしまいました。先生にいままで残っていた分も全部やるように言われて、5年の後半は大変だった時期もありましたが、補習と計算をがんばるうちに組分けや合不合格判定テストでも成績があがるようになりました。

しかしその次が難題でした。附属の算数が全然できないのです。附属はドットプロットなど四谷のテキストではなかなかやっていないような問題が出ます。そこでぼくは「附属への算数」で間違えた問題を母にノートに貼ってもらい解き直して復習したり、附属の過去問を買って、塾で解いた過去問はもう一度最初から通して解いたりして克服していきました。そうした努力のおかげで自信がついていきました。

ここまでやったのだから、後は神様に祈るしかないと思い、入試の前日にはお守りと文房具に願掛けしてから寝ました。朝は出発前に計算テキストをして頭を起こしました。試験当日とても寒い日は教室に入るまで外で待っているとマスクの中が湿気で濡れてしまうので、替えのマスクを用意しておいてよかったです。指先もかじかんで動きにくくなるので合格カイロでしっかり温めてから試験に臨みました。どの試験も落ち着いて解けました。志望校に合格できたのはいつもぼくの質問に丁寧に答えてくださり、サポートしてくださった先生方のおかげです。ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

初めての中学受験で、右も左も分からないところからのスタートでした。

算数に関しては、内容が難しすぎて親は教えてあげられず、何ができていて何が足りないのかも分からないので、三者面談をよくお願いしていました。面談では、毎日の計算ノートや冊子、テスト類をすべて持って行って、書き込みを先生と一緒に見ていただきながら、つまづいている問題をどこまで戻って復習するか、またテストでの余白の使い方から、板書の仕方まで細かく直接本人にアドバイスしていただいていたと思います。5年生から自分で質問し、解決するようになりましたので、本人に任せられるようになりました。

算数には一番時間と労力をかけていたと思いますが、最後まで決して得意ではありませんでした。苦手な科目は克服するのがなかなか難しいですが、うまく勉強が進まないけれどどうしたらいいかわからないときは、早く先生に相談し一緒に解決方法を探っていただくのが一番です。また親はつついできていないことばかり目についてしまいますが、本人ががんばっているところも教えてくださるので、それが親の精神安定剤になっていたと思います。

他にも挙げればきりがなくらい、先生方のたくさんの支えのおかげで3年間の長い道のりを親子で乗り越えることができました。本当にありがとうございました。

STORY03：一つ一つの授業を真剣に



麻布・渋渋・早稲田・西大和・広大附属・学院・修道中学校 合格

(宇品東小学校 男子)

僕は1年生の終わりから大木スクールに通い始めました。友達にも恵まれて楽しく5年間通塾することができました。

国語では、先生がおっしゃる通り読書をしたことで、安定して得点できていたと思います。ただ、僕は記述問題に苦手意識がありました。でも、6年生の秋頃から記述問題の多い難関校の問題を解くようになったことや、記述特訓講座に参加したことで、苦手意識を克服することができました。

算数は特に宿題が多く、全てをこなすことは難しかったので、必要な問題だけを解くようにしていました。特に僕は、ケアレスミスが多かったので渡されるプリントの基礎的な部分だけを家で解くようにしていました。

社会では時々行われる小テストの一つ一つを真剣にするようにしていました。また、先生

が作ってくださった G バイブル、H テキスト、C テキストなどの大木スクールオリジナルテキストには本当にたくさんの知識が載っていて、最初は「こんな知識、役に立つのかな」と思ってしまうようなものありましたが、それらの知識を問う問題も実際に出題され、とても役立ちました。なので暗記するのは大変かもしれませんが、皆さんにも覚えてほしいです。さらに、6 年生になると暗記テストを全てクリアしたら特別なテキストがもらえるので頑張ってください。

理科では、宿題のプリントをしっかりと解くことを頑張りました。そして分からなかった問題の解説や、先生が教えてくださるテキストには載っていない知識もしっかりメモすることも頑張りました。

そして、全ての授業に共通していたことは、一つ一つの授業で先生の話をしっかり聞き、真剣に受けることを頑張ったということです。僕はこのことが一番大事だと思っています。

受験生の皆さん、これから大変なことがもっと増していくと思います。でも、努力した分必ず合格に近づくので頑張ってください！

そして、僕を合格に導いてくださった大木スクールの先生方、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

この度は、志望校合格に導いてくださり、本当にありがとうございました。

学年が上がるごとに大変そうだなと親は思っておりましたが、本人はそうのように感じている素振りはあまりなく、感心して見ておりました。そう感じさせない授業や友達関係が大木にはあったのでしょうか。

県外受験対策の授業にも参加させてもらうようになってからは、同じように高い目標を持って頑張っている友達と切磋琢磨することによって、より大きく成長できたと思います。

当初は県外の学校に通うつもりもないし、志望校の対策に力を入れた方がいいのではないかと思っておりましたが、本人がやってみると決めたので、親としては見守るのみでした。

結果的には、学力はもちろん、難しいことにも挑戦する姿勢、考える力などを鍛えることができ、チャレンジしてよかったと思います。

今でも普段は9時には寝るような生活をしているそんな子が自分から塾で勉強することも、あんなに楽しそうに塾に通うことも通塾当初には想像もできませんでした。

大木での勉強やお友達は彼にとって、とても楽しく大事だったのだろうと思います。

先生方には大変お世話になりました。ありがとうございました。

STORY04：ケアレスミスをなくせ



広大附属・ND 清心・女学院・安田 中学校 合格

(安田小学校 女子)

週テストや組分けテストなどがあった時は、配られた過去問を間違えたところだけ解きなおしたりなど計画的にできていましたが、それらがなくなった9月以降少し気が抜けてしまい、その後の12月の「中学入試判定テスト」で悪い結果が出てしまいました。とくに算数のケアレスミスが本番直前まで治らなかったのが、附属の過去問や清心の算数その2問題などはミスをしないようによく意識して見直しの時間が残るようにしました。また、よく問題の読み間違いをしていたので、読み間違えないようにできるだけ気をつけました。

国語ではできるだけいい点を取りたかったので、休憩時間に読書をしたりしました。

社会や理科の暗記テストは溜まるとあとで大変なので、できるだけ不合格にならないようにしたり、再テストなどをがんばりました（特に社会）。また、社会小テストの前の時間は悪い点を取りたくなかったので必死に暗記をしていました。

疲れたときはちゃんと時間を計ったりして、休憩を取っていました。

これまでありがとうございました。

【ご家族のコメント】

大木スクールには、3年半の間お世話になりました。最後まで娘が楽しくすすんで通い続けられたことは、ひとえに熱心にご指導下さった先生方や切磋琢磨できる仲間がいたおかげだと感謝しております。

まだ子どもながらも、中学受験合格という目標を定め、それに向かって成績を上げていくためにはどうしたらいいか……間違ったところを何度も解きなおしたり、納得がいくまで質問したりと、工夫や試行錯誤を何度も何度も重ねて成長できた経験は、これから娘の一生の財産になるでしょう。そのような貴重な場をありがとうございました。心よりお礼申し上げます。

STORY05：「勉強したい！」に伝えてくれる場所



広大附属・ND 清心・女学院中学校 合格

(東雲小学校 女子)

私は年中からこぐま会に通っていてそのまま6年生まで大木スクールで勉強をしました。本格的に勉強を始めたのは4年生からで、その時から毎日自習室を利用していました。成績が上がり始めたのは6年生の後半で、その頃にしていたことは、授業で分からなかった事や問題を解いてみて分からなかった事を先生に積極的に質問することです。分からない事をそのままにせず、地道に解決する事が成績向上への一番の近道だと思います。

1月になると、さらに塾の自習室で勉強する時間が多くなりました。また、このころは、体調を崩してしまうときもあり、体調管理を怠らないことも大切だと感じました。

最後まで見守り、質問に付き合ってくださいました先生方と両親に心からありがとうございましたと言いたいです。

【ご家族のコメント】

大木スクールには年中の秋、こぐま会からお世話になりました。小学校受験後は就学前準備講座、小1～小3まではハイレベルクラス、それから小6までずっと一緒に勉強した友達も多く、娘にとって大木スクールは居心地のいい場所だったと思います。レプトンやパズル道場にも通わせていただき、低学年のころから塾に週3～4回通うのが当たり前でしたので、高学年になって授業日数が増えても負担を感じることなく通塾することができました。

娘は自立した性格ですので、中学受験に関しては塾と本人に任せて手出し口出しをしませんでした。勉強が難しくなってきたり成績が思うように上がらない時期もありましたが、先生に三者面談でご指導頂いたり、個別指導で苦手科目を克服したりと、きめ細かくサポートして頂きました。その一方で小6の夏以降はがんばりすぎじゃないかと体調面が心配でした。中学受験は体力も精神力もいるものだなと身をもって感じました。家が塾から近かったこともあり、自習室を利用することも多かったです。授業がない日や授業後も、自分から自習室に行くので時には家より長く塾にいる日もありました。

幼いころ「勉強したい！」と自分から言い始めて出会った大木スクールでした。娘にとって常にその気持ちに伝えてくれる環境があったことは幸せなことだったと思います。

中学受験を通して、目標を持って努力する事で未来を切り開く体験をできた事は娘にとってとても良い経験になりました。

最後になりますが、幼児期から長い間見守り、ご指導頂きました先生方、本当にありがとうございました。

STORY06：Zクラスをめざして…



広大附属・ND清心・女学院中学校 合格

(附属小学校 女子)

私は5年生から大木スクールに通い始めました。兄が附属中学校に通っているのので、私も附属中学校に通いたいと思ったのがきっかけでした。通い始めたときはGSクラスだったので授業にもついていくことができていました。そして、5年生の夏に一度Zクラスに入ることが出来ましたが、GSクラスの時のように授業についていくことが出来ず、成績も落ちていき、すぐにGSクラスにもどってしまいました。そこから私はZクラスにまた入ることを目標に頑張っていました。そのおかげで6年生の初めにZクラスに入ることが出来ました。授業にも何とかついていくことができ、成績も少しずつですが上がっていくようになりました。

ですが、私は理科がとても苦手で、テストも理科が足を引っ張っている時がたくさんありました。なので、6年生の12月くらいから、理科の基礎固めをするべく、週テスト問題集のA・B問題を60点取れるまで繰り返しやりました。そのおかげか、過去問で合格ライン近くまで取ることが出来るようになりました。入試では、大木神社のお守りに書いてあることを繰り返し読み、自分を落ち着かせて問題を解くことが出来ました。附属の入試も先生方からの激励の言葉を思い出して落ち着いて問題を解くことが出来ました。私が附属中学校に受かることが出来たのは大木スクールの先生方のおかげです。本当にありがとうございました。

STORY07：自分で考えながら学習できるように



広大附属・ND清心・女学院・安田中学校 合格

(皆実小学校 女子)

私は、4年生の春から大木スクールに通い始めました。最初はOクラスでしたが、だんだんと成績がのびはじめ、4年生の終わりにはZクラスへ上がることが出来ました。

大木スクールの良かったところは2つあります。1つ目は、自習室が利用できることです。私は家では勉強に集中できなかったのので、自習室を利用していました。2つ目は、気軽に先生に質問ができることです。私は分からない問題はそのままにしないように、先生に

質問をして基礎を定着させるようにしていました。

受験直前は、成績が下がっていた国語と苦手な算数を中心に勉強しました。また、成績が悪かったときは、得意教科の社会を解いてモチベーションを上げるようにしていました。

第一志望の受験日は緊張しましたが、先生方から激励を受け自信を持って臨むことができました。私がここまで成長することができたのは大木スクールの先生方が勉強しやすい環境を整えてくださったおかげです。先生方、3年間ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

4年生になるにあたり、受験は特に考えておらず学習習慣をつけることを目標に入塾を考えていました。塾に関しては子どもの主体性を大切に、いくつか選択肢の中からと考えていましたが、最初に伺った大木スクールの印象が良かったようで、その場で入塾を決めました。4年生からの入塾のため、初期の組分けテストは散々な結果でしたが、コツコツ続けることに意味があること、自分で考えて学習することを大切にするように話をして、「勉強をなさい」と言うことなく受験まで過ごしたことは本人の力の蓄積につながったのではないかと思います。子供ですので時々気が緩む時期もありました。その時には夜、車で迎えに行った際に自分自身と向き合うように、今の自分の気持ちに気付けるように話したことが印象に残っています。

6年生になってからは難しい内容も増えたようですが、毎日のように自分から自習室に行き、集中して勉強に取り組めたこと、また先生方が丁寧に質問に答えていただけたことで結果が出てきたように思います。子どもの意思で学習していることを尊重し、見守りながら親としても送り迎えを頑張ってきました。

受験に関しても子どもの意思に任せ、本人の目標を尊重しました。入試前には自分で考え今まで申し込みをしていなかった個別特訓に申し込みたいと言ってきたり、入塾から2年以上経ち自分で考えながら学習ができるようになったのも大きな成果であったと思います。

入試前は緊張もあったようですが、先生方が入試前に早く会場まで来て応援してくれたことは励みになったようです。

親は子どもの将来を色々考えることもあり、ついつい親の意思を押し付けそうになることもありましたが、子どもの将来であることを考え子どもの考える力を信じ見守ること、今の自分に気付けるように関わることも入試には大事なことがわかりました。子どもと共に親も成長できました。入試のことがよくわからない中、経験がある先生方に丁寧に教えていただき安心して取り組むことができました。本当にありがとうございました。

STORY08：危機感が本気にさせる



広大附属・学院・修道・城北中学校 合格

(附属小学校 男子)

僕は幼稚園の年中から大木スクールに通いました。

塾は楽しく一度もやめたいと思ったことはありません。特にパズル道場が好きで毎回友達と対戦するのを楽しみにしていました。パズル道場のおかげで空間認識能力が上がり、図形の問題と暗算が得意になりました。

しかしだんだん学年が上がるにつれ、課題をこなせないことが増えていきました。算数の計算はどんどん複雑になっていくのに式を書くのをめんどくさがり、ついつい暗算したせいでミスをして……そんなことを繰り返し、直ちに時間がすごとられるようになりました。成績はどんどん下がってきて、自分でもよくないとは思っていたけどなかなかやる気が出ずただ時間が過ぎていきました。

そんな状況に危機感をおぼえて、小6の夏休み前くらいから算数のケアレスミスの問題や不合格の暗記テストなど課題が山積みになっていることに気づき、本気で勉強に取り組み始めました。算数は計算のテキストを毎日解いてケアレスミスをなくすことを徹底しました。また、過去問でわからない問題はグループ個別で必ず質問・理解するようにしました。理科はHOP、STEP、JUMPの暗記テストを毎回合格できるよう頑張りました。社会はたまっていた不合格の暗記テストをひたすら合格になるよう何度も受けました。一番苦手だった国語はグループ個別で先生から直接指導をしてもらいました。夏休みから本気で勉強した おかげでクラスの下の方だった成績が上位になるまで伸びました。

試験当日は先生一人一人から激励の言葉をもらいました。一番印象に残っているのは「1：3：6」です。テスト前、緊張して心拍数が上がりましたが、この言葉を思い出すと気分が安定して無事試験を乗りきることができました。

ぼくが中学受験で学んだことは、自ら気づき、本気で頑張れば目標を達成できるということです。また、競い合う仲間がいると勉強のモチベーションが上がり頑張れるということです。さらに、先生たちの楽しい授業のおかげで勉強することの楽しさを知りました。

大木スクールの先生方、競い合った友達、応援してくれた家族のみなさん、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

こぐま会からお世話になりました。

小学受験は「親の受験」、中学受験は「親子の受験」と説明会で先生が言われていました

が、小学校中学年から成績が伸び悩み、親子で臨む中学受験の難しさを感じました。

低学年までは親の言うとおりに素直に勉強に取り組んでくれていましたが、中学年になり「ぼくはこう思う！」と主張をし始め、ミスが起ころがちな問題の解き方を変えようとせず勉強が中断したり、課題をこなすのに時間がかかるようになりました。高学年では反抗期が重なり、親子で衝突することが増え、成績は下がる一方でした。こんな状況ではまずい、親がなんとかしなければと小学受験の勢いそのままにあれこれ試して取り組んできましたが、理想と現実のギャップが開いていく一方で、どこかで親から子供へ主導権を握り変えてもらう必要があったのだと思います。それができたのが小6の夏休みあたりでした。下がっていく成績を前に親もあきらめ開き直ってきていたところでやっと子供がやる気を見せ始めました。

親としてできることは、毎日「お疲れ様！お風呂！おやすみ！」「おはよう！」となるべく明るく声をかけ食事の準備をするくらいで、テストの結果や勉強の進捗状況などは声掛け程度に留めて干渉しすぎないように気を付けました。そこからは親子関係も改善し前向きに勉強に取り組んでくれるようになりました。

こんな状況の中なんとか合格できたのは、大木スクールの楽しい授業、個別指導、暗記テストや先生の励まし、また、たくさんの仲間を支えていただいたおかげです。本当にありがとうございました。

STORY09：親子二代で大木スクール



ND清心・女学院・安田中学校 合格

(仁保小学校 女子)

私は、算数が得意だったので、算数は頑張れたのですが、苦手な国語や理科が思うようにいかず、あまり授業についていけませんでした。五年生の最初の組分けテストでGSクラスに上がることが出来、GSクラスでは、理科の暗記テストを週に何度もやり、国語の問題もたくさん解くことや、国語のグループ個別で先生方が熱心に教えてくださり、苦手意識も少なくなり、少し克服することが出来ました。また、個人懇談などで、どうすれば出来るようになるのかということたくさん教えてもらい、それを実践してみると苦手だった国語が少し出来るようになりました。入試の前に先生方が励ましてくれ、緊張がほぐれ、精一杯出しきることが出来ました。ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

娘から受験したいと言われ、小5から大木スクールに通うことになりました。大木スクー

ルは、私自身も中学受験の際にお世話になり、信頼出来る先生方ばかりなので安心して通わせることが出来ました。

初めは、算数の宿題をやるのにとっても苦労し心配することもありましたが、授業や先生方に質問することで理解し、1番好きな科目になったようです。

私がサポートしたことは、宿題の把握や漢字の直し、丸つけ、暗記の手伝い、プリントの整理などです。朝が苦手な娘ですが、学校へ行く前に計算を1ページすることを受験まで続けていました。社会の暗記テストはその週で合格するように、曜日を決めて毎週受けるようにしていました。

娘の成績で一喜一憂してしまうこともありましたが、面談や電話でのご相談、迎えの時間にお会いした時など知識と経験豊富な先生方からのアドバイスがいつもの確で、本当に心の支えとなりました。

大木スクールの先生方やスタッフの皆様、そして同じ志をもつ仲間達と学んだ2年間は、娘にとってとても楽しく、貴重な時間となったと思います。本当にありがとうございました。

STORY 10 : 友達と先生とともに…



学院・修道・城北中学校 合格

(宇品小学校 男子)

僕は、4年生から大木スクールに通いました。

入塾を決めた理由は、兄が通っていたからで、知識豊富な先生の授業が楽しいし、解説もわかりやすいと話を聞いていたからです。

実際、授業を受けた中で、テキストにはない経験豊富な先生方の面白い話を含んだ授業は、僕にとって毎回楽しく思えました。

オリジナルの教材もあって、その教材を最後までしっかり暗記していくことで、入試に大きく役立ったと思います。大変だった暗記をサポートしてもらえました。

わからないことがあったら、どの先生方も気軽に聞ける存在だったので、ありがたかったです。

振り返ると、塾で知り合えた友達の存在も僕にとって大きかったです。大変なこともたくさんあったけど、同じ目標を持った仲間たちと共に勉強を積み重ねることができたのは、塾内の雰囲気の良いのおかげだと思います。

入試前に、先生方からかけてもらった言葉に勇気をもらえて、僕は、全ての試験に落ち着いて望むことができ、力を発揮することができました。

先生方、ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

息子が入塾したのは、4年生の冬期講習からでした。

長男が通塾していたこともあり、安心してお任せできると思い決めました。

入塾した当初は、他の習い事との両立で余裕のない日々でしたが、息子は一度も塾を辞めたいということもなく、塾がある日は授業を楽しみに、そして、塾のお友達と切磋琢磨して過ごせる時間を楽しみに通っていました。

6年生になる頃に、目指す志望校への思いも強くなり、やるべきことをこなしていく力を身につけてくれていったのではないかと思います。このような力を身につけられたのは、先生方からのアドバイスや、いつも温かく声をかけていただけた環境のおかげです。的確なアドバイスがいただけたからこそ、いつも心強い存在の先生方でした。

入試直前は、親子不安になることもありましたが、些細なことでも相談しやすい雰囲気があり、丁寧に対応していただけたことは感謝しかありません。

本当にありがとうございました。

STORY11：6年生になって分かる5年生の大切さ



ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(楠那小学校 女子)

私は5年生の時から入塾しました。他の人より入塾するのが少し遅かったので、追いつくのが大変でした。でも、先生方の丁寧な解説や友達の協力のおかげで基本的な内容を理解することができました。それからは、大木スクールの卒業生の「先生の言葉は神の言葉だ」という言葉を大切にして授業を聞いていました。先生が前に書いたことだけでなく、自分がわからないと思ったことは、ノートに書いて、家で復習するようにしました。

私が後悔したことは、5年生の時に暗記をしっかりとしなかったことです。6年生になって、基本的な内容がとても大切だったことに改めて気づき、後悔しました。入試の問題は、基本的な内容を使って考える問題が多かったので、普段からの暗記を大切にするのが良いと思います。

私は、先生方の普段の授業や直前の応援のおかげで合格することができました。大木スクールと、私の友達に本当に感謝しています。2年間、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

2年間大変お世話になりました。

5年生からの入塾ということで、みんなから遅れがある中、ここまで成長させていただき本当に感謝しています。

私が気をつけていたことは2点です。

1つ目は体調管理です。小学校から帰宅後のおにぎりを準備したり、塾内での軽食、塾から帰宅後の食事をできるだけバランスよく、食べやすいものを考えたりした。また、6年生の受験直前にはほぼ毎日塾に通っていたので、本人の様子を見ながら、休息の時間を取るよう声をかけました。

2つ目は、宿題や暗記など、学習内容についての管理を一緒にしました。入塾すぐは慣れない生活リズムだったので、1ヶ月ぐらいは学習の予定を確認していました。慣れてからは自分で管理ができるようになり、時々確認をする程度でした。

受験対策は大木スクールの学習にすっかりお任せしていましたので、心配することは全くありませんでした。

同じ小学校の友達がいないうち、新しい友人を増やし、楽しく学習を進めさせていただけたのは、大木スクールの先生方のおかげです。2年間大変お世話になりました。ありがとうございました。

STORY12：全統小決勝大会の思い出



渋渋・早稲田・西大和・広大附属・学院・修道・城北中学校 合格

(白岳小学校 男子)

僕は、1年生の時からパズル道場で大木スクールに通い始めました。

パズル道場では、図形や計算など、楽しみながら勉強する事が出来ました。級が上がるのが楽しくて、どんどん先に進めました。今思うと、このパズル道場が4年以降の算数にとても役に立ったと思います。

4年生からパズル道場を辞めて、通常のコースと希学園の算数に入りました。希学園の算数は、学年が上がるごとに難しくなってきました。しかし、大木スクールの先生たちのわかり易い解説で頑張ることができました。

大木スクールで一番の思い出は、4年生の全国統一小学生テストで決勝大会に進出したことです。コロナで東京での決勝大会、IVYリーグには行くことができませんでしたが、まったく想像もしていなかった決勝大会へ自分も頑張れば行けるんだという大きな自信にな

りました。四谷大塚から頂いたパソコンと記念品は、僕の一生の宝物になりました。

6年生になり、宿題やテストも増えて大変でしたが、それも一つ一つ確実にこなしていくことが自分の自信となり本番に臨めました。また、大木スクールで同じ目標に向かって頑張っている友達もでき、勉強が大変だった時も、みんなも頑張っているから僕も頑張ろうと思いました。志望校に合格できたのも、先生と友達のおかげだと思います。

6年間お世話になりました。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

大木スクールには、1年生からパズル道場に通わせて頂きました。

パズル道場へ通っていた低学年の時は、地元の中学へ行くと言っていた息子。友達と勉強するうちに、だんだんとこの友達と一緒に学校へ行きたいという気持ちが芽生え始め、受験する事を決めました。

初めは塾の日数も少なく時間に余裕がありましたが、学年が上がるにつれ、勉強も大変になり、毎日が時間との勝負だったような気がします。

勉強は本当に大変そうでしたが、大木スクールの先生の授業は面白いようで、楽しく通わせて頂きました。

最後の一年は、やるべきことを着実にこなしていくうちに、あっという間に本番を迎えたような気がします。

本番当日も、まだまだ不安はありましたが、不安に感じていたのは親だけで、息子は塾でたくさんのテストやプリント、暗記を頑張ってきた事が自信となり、本番も自信を持って臨めたようです。親の知らないところで成長したなぁと誇らしく思いました。

大木スクールでの6年間はとても充実し、貴重な体験をさせて頂きました。また、楽しく授業を進め、ご指導して下さった先生方には心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

STORY13：あの失敗は、今日のため



学院・修道・城北・広島なぎさ中学校 合格

(千田小学校 男子)

僕は、大木スクールに通って本当に良かったです。

受験が終わった今も、塾に行きたいと思うほどです。

塾には、色んな小学校から通ってきていて、はじめは少し緊張していたけど、6年生の頃になると、たくさんの友達と楽しく、競い合うことが出来て、毎日、大木に行くのが楽しみ

でした。友達が自分より成績が良かった時は、また次は自分が勝ちたいと思って、復習したりして、頑張りました。

大木スクールの先生たちの授業は、どの授業も楽しかったです。たくさん色々なことを話してくれるので、ホワイトボードに書いていないことも、ノートにメモして、先生の話をお死で聞きました。

そして、先生がよく褒めてくれるので、うれしい気持ちになって頑張ろうと思えました。また、分からない問題があると、先生に聞きに行きましたが、そのときもとても優しく教えてくれたので、分からないこともどんどん聞きました。

入試が近づく頃には、たくさん補習をしてくれたのも良かったです。

そして、僕が一番うれしかったのは、試験当日、会場に先生たちが来てくれていたことです。

試験の前に、それぞれの先生がたくさん激励の言葉を言ってくれました。僕は、本番前のプレテストで、良い点数がとれませんでした。なので、少し不安がありました。でも、試験当日、先生が、「あのときのテストの失敗は今日のためだったんだぞ」、と言ってくれて、すごくうれしかったし、がんばろうと思えました。

大木スクールは僕にとって、本当に楽しい場所でした。志望校に合格したのもうれしかったけど、楽しい友達や優しい先生と出会えて本当に良かったです。また、行きたいです。

【ご家族のコメント】

入試を無事に終わることが出来た今、大木スクールには、本当に感謝の気持ちでいっぱいです。

大木スクールは、上のお姉ちゃんの時にお世話になったので、塾選びの選択肢にはありましたが、下の子は、上の子とも性格も違うので、大木スクールがこの子にあっていいのか、不安で、ほかの塾も検討しました。でも、パズル道場も楽しく通い、ほかの塾の体験もした結果、本人は、迷いなく大木スクールを選びました。

入塾してからは、本当に楽しく通わせていただきました。塾から帰ると、いつも塾の友達や先生の話を楽しそうにたくさんしてくれました。男の子の特性もあるんだと思いますが、暗記テストや定期的なテストは、大変そうではありましたが、ゲーム感覚でそれをクリアすることを楽しんでいるようにも見えました。

そんな中でも、国語は、壊滅的な成績をとることが多く、親としては、とても心配していました。でも、自分で国語に取り組む時間を増やしたり、国語の個別指導を受講したりすることで急に力がついてきました。個別指導でも、子供のやる気を引き出してくれるような指導をしてくださり、本当にありがたかったです。

試験当日の一人一人に対する丁寧な声かけも感謝しかありませんでした。当日は、親自身

も不安で心配するばかりで、どんな声をかけてやったらいいのか分からないし、親の言うことはほとんど耳に入っていませんでしたから……。

友達や先生方に支えられながら、受験勉強生活を終えた息子は、今、とても頼もしく見えます。このような充実した時間を過ごさせていただき、頼もしく成長させてくださった大木スクールの先生方、受付でいつも優しく差し入れを受け取り渡してくださった事務の先生、本当にありがとうございました。これからも大木スクールのファンです。

STORY14：クラス替えをきっかけに…



学院・修道・広島なぎさ中学校 合格

(古田台小学校 男子)

僕が大木スクールに通い始めたのは2年生の終わり頃でした。

塾に行くのは楽しかったけど、成績はあまり気にしていませんでした。そうこうしていると、5年生の終わりにGSクラスからOクラスになってしまいました。そこでようやく本気になる、なんとかGSクラスに戻ることができました。家族には暗記を手伝ってもらったり、わからないところを教えてもらったりとフォローしてもらいながら頑張ることができました。塾では友達と暗記をして楽しく過ごし、わかりやすく教えてくださる先生のおかげで、なんとか最後まであきらめず努力することができたと思います。その努力が報われ、志望校に合格することができました。大木スクールの先生や、友達、家族などたくさんの人達に支えられたおかげだと思います。

この4年間大変だったけど、充実した日々でした。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

大木スクールに入ったのは、2年生の冬でした。

中学受験を特に意識せず、公文から切り替えるかたちでの入塾でした。大木スクールは自宅からは遠いということもあり、最初は親子共々やっていけるだろうかという不安がとても大きかったものの、通っていくうちに授業の楽しさや、塾でできた友達の話題が増え、ついには「広島学院」に通いたいという目標を持つようになりました。

とはいえ、成績は良かったり悪かったりの繰り返し。このままでは受験どころではないと焦りがでてきた5年生の終わり、ついにクラスが下がってしまいました。その時、先生から丁寧なアドバイスと励ましをいただいたことでようやく本人のスイッチの切り替えができたように思います。苦手ではなかったはずの国語も成績が下がっていたので、毎回宿題は提出し、丁寧に確認していただき、滞っていた社会、理科の暗記テストは、親子のクイズ形

式で覚えるように工夫し、少しずつですが追いつくことができました。

遅れを取り返すことに加え、日々の授業についていくことは大変だったはずですが、息子は最後まで「あきらめたくない」という気持ちでよく粘り、無事志望校に合格することができました。

情熱を持ってご指導いただいた先生方や、同じ目標を持って共に頑張ってきた友達のおかげと感謝しております。

長いようであっという間だった気もしますが、親子共々支えていただき、本当にありがとうございました。

STORY15：大木スクールでなかったら…



修道・城北・広島なぎさ中学校 合格

(宇品小学校 男子)

僕は4年生の時に大木スクールに入塾しました。最初の頃は国語と算数の通常授業と週テストを中心に学習していましたが、他の塾生がみんな自分よりも成績が良くて自分は成績があまり良くありませんでした。

他の塾生に追いつけるように頑張らないといけないと思い、テストで間違えた問題は両親と復習をしたり、苦手だった社会の暗記や算数のミスが減らすために計算問題を練習したりしました。そのおかげで算数の計算ミスが少なくなりました。国語は4年生の時と5年生の時に個別授業を受けて文章を読む速さと問題を解く力がついたので点数がかなり上がりました。入試前の半年くらい前からは家ではしっかり志望校の過去問や入試に出そうな問題を解いたり復習したりしました。

成績は最後までなかなか急上昇はしなかったですが、先生方が応援してくれたので自信を持つことができ、無事に第一志望の中学校に受かりました。大木スクールに入って本当に良かったと思いました。これからも塾で学んだ様々な経験を生かして中学校で頑張っていきたいと思います。

【ご家族のコメント】

4年生の時、行きたい中学校があるということていくつか塾を回ってみたのですが、大木スクールの先生の「頑張れば絶対に大丈夫」、という信頼感というか安心感みたいなものを強く感じ、入塾させることに決めました。

最初のころは本当に続くんだろうかと思うほどの授業レベルの高さに不安もありましたが、本人は大木スクールに行くのがとても楽しいらしく、仲の良いライバルもでき、いろいろ

ろなこともありましたが、一度も塾に行きたくないとは言わず3年間、通塾することができました。

成績のほうは本人のやる気も含めて思ったようにはなかなか上がらず、それでも得意な科目や問題が少しずつ増えていくことができ、1ヶ月前くらいにはもしかしたら合格するかも、と思えるくらいにはなりました。これまでの週テストや判定テストでは、どれかの科目が必ず駄目だったのですが、直前の志望校対策授業のおかげもあって、受験ではこれまででベストの力を出せたのではないかと考えています。

大木スクールの先生方には、最初から最後まで息子に対し、全力のフォローと叱咤激励していただき本当に感謝しております。大木スクールでなかったら、絶対に第一志望の中学校には合格していなかったと思います。3年間、本当にありがとうございました。

STORY 16：楽しい楽しい自分の居場所



学院・修道中学校 合格

(宇品東小学校 男子)

僕は、姉が通っていたこともあり2年生のころからパズル道場に通い始めました。パズル道場では、図形や計算など楽しくゲーム感覚で問題を解くことができました。そのおかげもあり、僕は算数の問題を解くことが大好きになりました。4年生になり、通常授業に参加しました。最初はやる気に満ちていたはずなのに、だんだんと宿題をやらなくなり、成績も下がってきました。その時、個人面談で「お前の武器は算数だ！ 国語と社会を伸ばせばいける。」と言って頂けたことにより、とにかく社会のGバイブルを読んだり、Cテキストを暗記したりして、全てクリアを目指していきました。そして国語では、個別授業を4年生からずっと続けてきました。家ではあまり勉強をしなかったけれど、漢字の暗記を親に出してもらったり、間違えた問題をノートに貼ってもらったりして、何度も間違えた問題を解くように心がけました。

そして受験2週間前。あの秘密特訓を受けることになりました。すると、苦手の国語も9割がとれるようになってきたのです。それが自信となり第一志望の学校では、国語が一番できたように思います。これも全て、僕を支えてくれた先生や家族のおかげです。感謝の気持ちを忘れず、これからも一步一步、努力を積み重ねていきたいと思います。僕にとって塾は分からないことを知ることでできる楽しい楽しい場所でした。本当に今までありがとうございました。

【ご家族のコメント】

パズル道場から4年間、大変お世話になりました。息子は家で勉強をしようとせず、親としてはただただ焦るばかりでした。しかし、いつも「塾が楽しい。楽しい。」と言っていました。それは塾の中で、自己肯定感を伸ばして頂いたからだと思います。「俺、また1番になって、チョコレートもらった。」「また褒められた。」と嬉しそうに帰ってくる姿をみて、大木スクールの先生方に育てて頂いているなど感じる毎日でした。大木スクールは、息子にとって自分の居場所だったのだと思います。この4年間で身に付けた力を中学校でも伸ばして行ってほしいと思います。長い間、育てて頂きありがとうございました。

STORY17：「2月の勝者」となるために



広大附属・学院・修道・城北・叡智学園中学校 合格

(安田小学校 男子)

僕は、5年生からの2年間、大木スクールにお世話になりました。

大木スクール（以下大木）の生徒の皆様、また、個性豊かで、素晴らしい授業をしてくれた大木の先生方に感謝したいです。さて、ここからは、自分のこれまでの経験と、これから入塾される方や、既に入塾していて、これから受験をされる方への自分なりのアドバイスを交えて話を進めていきます。

僕が入塾して半年ほど経った5年の夏期講習のころには、僕も塾になじめてきて、他の生徒との会話も増えてきました。他の生徒との関わりが増えてくると、学習への意欲や、積極的に授業に参加しようという意識が高くなってきました。この頃は、単に調子がいいだけと思っていましたが、今思えば、それは自分が他の生徒に負けまいと努力していたから、そして、当時、塾の宿題や課題をこなしていたからこそのことだと思います。つまり、地道に努力して、それを続けることが自分の学力を上げることに繋がるということです。社会や理科の暗記テストや国語と社会の小テスト、そして国語の漢字テストは、特に重点的に取り組むと、6年の授業やテスト、入試がうんと楽になります。ただ、多くの場合、努力を長く続けるのは中々難しいです。そこで大切になるのが他の生徒との関係です。他の生徒が自分よりもいい成績だったり、自分を上回るような努力をしていたりしていると、自分の中の負けず嫌いな部分が出てきて、その生徒を上回りたいと思い始めるでしょう。たとえ、その生徒を上回れなかったとしても、自分がした努力は決して裏切りません。後の自分の財産になるでしょう。また、文具券の制度も、努力を続ける原動力になります。そして、その努力が身につけているのかを週テストで確認し、四谷大塚の復習ナビで苦手な部分を克服すれば、あ

あなたはもう無敵です。自分が無敵だと思えると、入試も楽にできます。ただ、入試は一部運に頼ることもあるそうなので、神頼みしてみるのも一つの手だと思います。そして、入試本番、応援の先生方に合うと、緊張が少し取れます。細かいことですが、半ズボン、寒くて問題に集中できない可能性があるのでは、オススメしません。

入試は、自分の持ちうる知識や学力を総動員して行います。では、どうすれば知識や学力を総動員できるのか。それは、これまで書いたことを徹底すること、そして塾の先生方の指導に素直に従うことです。塾の先生方は、入試の経験がとても豊富なので、絶対頼ってください。僕は、本番での時間配分のことなどですこし不安になりました。大木スクールの先生はそうした相談にもものってくれました。なので、受験をするときは、必ず先生方に指導を乞うて下さい。

保護者の皆様、これまで僕が書いたことは、ご息やご息女が、(1月と)2月の勝者になるために行う必要がある最低限の事です。なので、これだけは頭の中に常にに入れておいてほしいです。

最後にはなりますが、僕を支えて下さった大木の先生方、そして母と父に心から感謝します。何よりも、無事に受験の日を迎えられたことが幸せです。誠にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

新5年生の2月から、2年間、大木スクールにお世話になりました。大木スクールの講師の皆様と、息子と一緒に切磋琢磨してくれたスクールの仲間との出会いがなければ、結果は全く違ったものになっていたことでしょう。

我が家は一人息子であり、中学受験は初めての経験でした。塾に通い始めた当初、私たちは我が子に対して「寄り添う」ことをこころがけようと考えていました。一緒になって取り組む、あきらめないで取り組む、両親が「伴走」することで乗り越えられる。きっと、「ある程度はできるようになる。」そんな幻想をいだきながら中学受験を始めました。そんな幻想が崩れるのは早い段階からでした。まず、授業についていけない、宿題は終わることができない、そして週テストでは、散々な結果……。思っていた中学受験とは違った形でのスタートとなりました。本人も自信を無くし、宿題はやりたくない、そして週テストも受けたくない。そんな弱音を吐いたのが、5年生の秋ごろでしょうか？ 親としてこのまま塾を続けさせたほうがいいのか、悩んだ時期でした。自信をなくした我が子に対し、まずは塾の授業をしっかりと受けること、できなくても構わないので、週テストは受け続けることを強く提案しました。私たちも、こころも身体も成長期にある子供に対して、こんなに勉強をさせる必要があるのだろうか、そんな風に悩んだ時期でもありました。

幸いにも息子の塾への思いは強く、ひとつひとつ困難な課題を乗り越えていくことができました。これは、本当に大木スクールの先生方や、仲間の存在のおかげだと思っています。その後、学校や塾で一通り習ったことがテストとして出るようになってから、少しずつ、週

テストの成績も上がるようになりました。私たちも少し肩の力を抜き、親が「伴走」をするのではなく、親は見守るだけに（親は力不足！ 塾に任せる！）方針へ転換していきました。余談ですが、息抜きとして塾のない日や塾の後に趣味の釣りに連れていったことが良かったと思います。私たち親も息抜きができ、家庭の雰囲気良くなりました。

子供の個性や家庭環境の違いもあり、正解はないのかもしれませんが、最後まで塾に行き続けることができたこと、受験当日を無事に迎えることができたこと、そして受験を通じて子供が成長してくれたこと、本当にうれしく思います。結果として多くの合格もいただくことができました。大木スクールには感謝しかありません。本当にありがとうございました。

STORY 18：たくさんの思い出を胸に



広大附属・ND清心・女学院・AICJ 中学校 合格

(港町小学校 女子)

私は小学校2年生の時に、大木スクールに入塾しました。馴染めるか不安だったけれど、一緒に勉強する友達もいたので楽しく大木スクールに通うことが出来ました。

4年生の最初、理科が足を引っ張る教科でした。そんな苦手科目を克服するために、暗記は全部合格するようにしてテキストをよく読み、予習シリーズの週テスト問題集のA・BC問題を全て解くようにしました。

算数は、基礎的な問題を早く正確に解くことが点数に結びつくので、予習シリーズの問題を必ず全部解くようにし、わからない問題は先生に聞きました。解き方のコツなど教えてもらおうと自分でも解けるようになり、算数は好きな教科に変わっていました。低学年の頃にパズル道場で図形に慣れていたこともとても役立ちました。

社会はなかなか覚えることができず最後まで苦手でした。受験直前まで5年生の授業の歴史のプリントを声に出して読むことや、四科のまとめに時間をかけて解いていくことで苦手な公民を克服することができたと思います。

国語は漢字テストで毎回満点を目指したことから、記述で得点が多くもらえるように先生にコツを教えてもらい長い文を書くように練習しました。苦手な説明文でも点が取れるよう予習シリーズも解くようにしていました。

受験直前には、今何をすべきか、今やらなくていつやるのか、自然とそんなことを考えていました。予定を立てて毎日勉強に集中することで自信が付き、緊張せずに入試を迎えることができました。

そうなれたのも、大木スクールの先生達、最後まで見守ってくれた家族達のおかげです。辛い時は励まして、嬉しい時は一緒に喜び、どんな時も私をやる気にさせてくれたことは本当にありがたい気持ちでいっぱいです。

これから私は新しいスタートを切ります。大木スクールでのたくさんの思い出を胸に、中学生になっても一生懸命に何事も頑張っていこうと思います。

長い間本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

「中学校は抽選がないから、がんばったら必ず受かるよ」

6年前、小学校の抽選に外れ、涙を流した娘にそう言ってくださった先生がいました。こぐま会の後も、迷うことなく大木スクールに通うことを決め、パズル道場と小2の秋から授業に参加するようになりました。

遠方のため、下校後に車の中でお弁当を食べながらの通塾するようなハードな日々。疲れているはずなのにそれでも娘は、大好きな大木スクールで信頼できる先生や仲間と勉強できることが楽しみだったのです。間に合わない時や体調不良の時など自宅から Zoom での受講もできたのでその点も安心でした。

成績は、比較的安定していた国語より、乱高下する算数となかなか点数が取れない社会に苦労しました。

算数は、計算ミスや問題の読み間違いなどのケアレスミスで大量失点することが多かったため、とにかく気を抜かずに丁寧に問題文を読み、丁寧に解くことを心掛けるようにしました。難問を解くにも基本問題の正確さが求められるので、基本を大切にすることが重要だと思いました。

社会は算数に時間を取られていたのもあり、普段の勉強でも後回しになり成績も伸びず、常に足を引っ張られていました。社会の覚えるべき事柄を点と点ではなく、線でつながるように覚えることが大切だと感じ、暗記のプリントや暗記テストで知識として覚えることに注力しました。

面談させていただいたときに、「復習ノート」を親が作ることを提案されました。復習は本人が自らしないと意味がないと思っていた私にとって「親が作る復習ノート」は、目から鱗が落ちる思いでした。週テストや過去問で娘が間違えた問題の解答と解説を親が1冊のノートにまとめ、時間のない娘が朝食の時や車で移動している時などに、隙間時間を使って復習できるようにする方法です。

復習をあとまわしにしていた娘も、まとめられたノートで確認することで少しずつ効果が出てきたようでした。

疲れもあり思うように結果がでないこともありましたが娘はいつもポジティブでした。仲間と切磋琢磨しながら勉強することがすごく楽しいと笑顔で話してくれたのです。

中学受験を通して親が手伝ったことは、体調管理、プリント整理、送迎くらいしか思い浮かばず、正直うまく伴走することはできなかったかもしれません。それゆえ娘にとっては孤独な闘いだったと思います。

わからないことは全て毎日遅くまで納得いくまで教えていただきました。信頼している先生方が寄り添ってくださったこと、そして志の高い仲間たちと一緒に学べたことが心の支えとなり、娘は最後まで楽しく受験勉強を続けることができ、自信をもって試験に臨むことができたと思っております。

大木スクールで体験できた貴重な体験は、娘にとってこれからの人生の糧になることと思います。

最後まで熱心にご指導いただいた先生方、いつも優しくご対応してくださったスタッフの皆様、心より感謝申し上げます。本当にありがとうございました。

STORY 19：大木文庫を楽しみながら



ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(安田小学校 女子)

私は算数が苦手だったので、塾では積極的に補習に参加して質問しました。毎朝、計算ドリルを1ページずつ取り組むことを最後まで続け、間違えた問題は付箋を貼り、できるようになったらその付箋をはがし、専用のノートに貼るようにしました。付箋が少なくなること、そしてノートに付箋を貼ることで、「できた」という達成感を得ることができました。また、どうしてもできなかった問題は、設問ごとノートにコピーして貼りつけ、何度もチャレンジするようにしました。

得意な国語は、最後まで大木文庫の本を読み続け、宿題等は他の教科との勉強の間に行い、「気分転換」と思いながら、楽しんで取り組みました。

理科は、JUMPを中心に、「できたら赤マル」「間違えても、解説を聞いて理解できたら、青マル」「分からなければ、星マーク」を付けて、沢山の問題に取り組みました。

社会の暗記は、何でも声に出して読み、母と一緒に憶えました。母は、インターネットで資料を探してくれたり、クイズ形式で問題を出してくれたり、楽しみながら取り組むことで、徐々に苦手意識が克服でき、成績も上がってきました。

4年生からの3年間、「自由で」「個性があり」「最後まで、先生達のやる気がすごい」大木スクールで勉強できたことに、本当に感謝します。ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

3年間に渡り、ご指導頂き、本当にありがとうございました。無事、第1志望のノートルダム清心中学校に合格することができました。

振り返ってみればこの3年間、私達の家庭において、大木スクールは生活の一部でありました。子供にとってはもちろんの事、親にとっても、定期的開催される保護者会に参加し、受験に対する心構えや学習のポイント等をしっかりご教授頂きました。中学受験に関しては、右も左も分からない私達にとって、大木スクールは“羅針盤”のような存在で、あり方を示して頂き、安心して取り組むことができました。

学業については「良くも悪くも、平行線」「国語は好きだが、算数は伸び悩み」との状況でしたが、決して「行きたくない」と言うことはなく、「時間ギリギリ&ダッシュ」で登校していました。とりわけ、大木文庫には“ときめいた”ようで、時間を見つけては本を読み、そのストーリーを熱く教えてくれました。

志望校に合格できたのも、本人の頑張りとお陰だと、大変感謝しております。今後ご指導頂ければと考えておりますので、よろしくお願い致します。

STORY20：野球と勉強と



広大附属・学院・修道中学校 合格

(皆実小学校 男子)

僕は、小学校4年生の時から塾に通い始めました。最初は国語と算数の二科目で、余裕もあり、楽しく通っていました。しかし後半から理科と社会を加えると、宿題のボリュームも増えて、習い事の野球との両立が、難しくなりました。

結局6年生の6月には野球を辞めて(僕の中では「中断」して)しまいましたが、疲労感は減り、予習復習の時間が増え、クラスもZにあがることができたので、思い切って決断して良かったかなと思います。

学習する上で最も気を付けたことは、次の授業やテストなど新しい単元に入る前に、必ず復習することです。習った所を分からないままにしないよう、心がけました。

具体的には、特に成績に波のあった算数は、とにかく問題の数をこなすこと。C問題を完璧に理解できるようにすること。国語はひたすら読書。理科は、問題演習をやる。社会は、授業である小テストや、Gパイブルなどをひたすら覚えました。

大木スクールに通ったおかげで、無事、第一志望に合格することができました。今まで本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

まずは3年間、みっちり指導して下さい、親子共々たくさんの助言をいただき、志望校に導いて下さったことに感謝致します。本当にありがとうございました。

かなり特殊な例だとは思いますが、息子の受験は、野球との闘いでした。小学校2年生からリトルリーグに所属し、土日は朝から晩まで練習の日々でした。特に5年生のときは、授業内容の進度がはやく、野球との両立のなかで、時には砂だらけの練習着のまま授業に臨んだりすることもありました。BコースとCコースを行ったり来たりしながら、思うように予習復習ができないことに、本人もストレスを感じていたようでした。

勉強も野球も！と心に決めて入塾したものの、息子の口から勉強に集中したいと言われ、藁にもすがる思いで相談致しました。すると、担当の先生は「野球は辞め時です。本人から勉強に集中したいだなんて、こんな立派なことはないですよ。」と真っ直ぐな目でおっしゃりました。その面談が後押しになり、親子で話し合いを重ね、6年生の春の大会を最後に、野球を辞めました。

その決断の後にはみるみる成績が上昇、さらに安定的になりました。クラスも週テストのコースも変わり、より自信を持って机に向かう後ろ姿が、本当に頼もしかったです。

昔から、これこれだからこうしたいと言う頑固な子でしたし、優先順位をつけてやるべき事が(多分)出来ていたので、ゲームは息抜き、無駄に長い読書も黙認、あまり口うるさく言わないように我慢しました。体調管理や睡眠時間の確保を中心に、時には社会の一問一答を笑いを交えながらやってみたり、他愛もない話をして気分転換したり、とにかく家ではリラックスできるように努めました。

思い返せば、色々と悩んだり親子喧嘩したりする日もありましたが、おかげ様で一回りも二回りも成長できたように思います。お友達もたくさん出来て、本当に幸せな大木スクール生活でした。ただただ、感謝致します。ありがとうございました。

STORY 21：不可能はない！



甲陽学院・西大和・広大附属・学院・AICJ 中学校 合格

(附属小学校 男子)

僕は、将来外科医になりたいという夢があって、その夢を叶えるには、医学部に行かないといけない、医学部に合格するには…と考えた時に、合格実績の高かった甲陽学院に目がとまりました。そして母に相談してそれから目標達成にむけて勉強を頑張りました。わからない問題は、どんどん先生に質問していきました。

先生たちが、いつも熱心に教えてくださったおかげで、僕は合格することができました。

僕は、この受験から学んだことは、目標に向かって一生懸命頑張れば、不可能なことは、ないということです。

【ご家族のコメント】

大木スクールには、年少の頃からお世話になりました。

こぐま会から一緒のお友達と、学校でも塾でも楽しみながら勉強をしていました。

息子が、五年生の時「僕は、甲陽学院に行きたい」と言ってきたので面談で先生に相談をしました。

その際、先生から「一緒に頑張ろう」と言っていただけたので、息子も安心して勉強に励むことができました。忙しい中、いろいろな先生方に質問を受け付けていただいたり本当に感謝しています。

大木スクールのサポートのおかげで、第一志望の甲陽学院に、合格することができました。ありがとうございました。

STORY 2 2 : 努力は必ず実を結ぶ



ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(舟入小学校 女子)

私は5年生から大木スクールに入塾しました。初めて通塾した時は、予想を遥かに超えて授業のレベルが高いことに気づき、ついていけるか不安でした。

入塾した頃、私には得意科目がなかったので、どの教科で頑張れば良いのかわかりませんでした。そこで、まずは中心科目で点数を稼ごうと思い、予習シリーズを読んだり問題を解いたりして算数を頑張りました。国語は本を読んで文章力を、社会や理科では暗記をして知識力と記憶力を鍛えました。ただ、途中でモチベーションが上がらないこともあり成績が下がって、第1志望であるND清心の合格判定が悪くなったこともありました。しかし、それからまた勉強を頑張るとGSクラスに行くことができました。

6年生になってOクラスに戻ると、GSクラスに行くことを目標として算数は予習シリーズや基礎力完成問題集、算数の達人を解き、社会や理科はHOP・STEP・JUMP、Gバイブルなどで暗記をして成績を上げようと思いました。国語は、問題を解いたり、休憩時間に本をよく読んだりすると、成績がだんだんと良くなり、最終的に得意科目として点稼ぎのできる科目となりました。社会や理科、特に理科は暗記をしているのに結果が出ず、不安を感じていました。

そんな時、先生達が本番に向けて今までよりも必死に授業をしていることに気づき、自分も合格できるよう頑張ろうと思いました。12月頃に行われた中学入試判定テストでは、第1志望の判定がD判定でしたが、1月には今までやってきた努力が実を結び、成績が安定し

てきました。気づけばもう入試日間近になっていて、Oクラスでもあまり良い結果をだせなかった自分に焦りを感じ、入試日程の1週間前は特に本気で勉強しました。

入試本番、会場で先生たちを見かけた時、ほんとうに安心しました。それから、先生方から応援の言葉をかけて頂いた時はやる気が高まって、実力を発揮することができ、第1志望校に合格することができました。

ここまで自分の勉強に付き添ってくれた先生方には感謝しきれないくらいです。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

娘が大木スクールに通い始めたのは5年生の時でした。4年生から塾に通っていなかった為、入塾当初は塾から出た宿題を父子一緒に必死で考えていました。

5年生の4月から週テストを受け始めましたが、結果に一喜一憂し、結果が出なかった時は言い争いになるなど、勉強のルーティーンが身につくまではとても大変でした。

5年生から6年生までで、クラスが上がったり下がったりしましたが、最終的に娘にはOクラスの授業の雰囲気は合っていたようです。6年生の夏以降は同じクラスに友達もでき、塾に行くことを楽しんでいるように見えてきました。

6年生12月までの模試の志望校判定は第1志望校がD判定で非常に不安でした。しかし、1月に入り別人のように勉強に取り組む姿勢が変わり、結果にも繋がってきました。

娘は国語が得意で算数、理科に不安がありましたが最後の追い込みで算数の力が上がり、第1志望校試験終了後の第一声が「算数が簡単だった」といったことには凄く驚きました。

大木スクールに通ったのは2年間という短い期間でしたが、子供への指導はもちろん、親への的確なアドバイスを頂いたことで、良い結果に繋がりました。第1志望校の合格が分かった時の娘の笑顔は、先生方の御指導と本人の努力の結果だと思います。

大木スクールの先生方には大変感謝しております。本当にありがとうございました。

STORY23：苦手な科目でも頑張れば…



ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(千田小学校 女子)

私は、5年生の夏期講習から大木スクールに転塾してきました。大木スクールを選んだ理由は2つあり、1つは、1日に4教科の授業があり、飽きっぽい私にピッタリだと思ったからです。2つ目は、先生の授業が面白く、分かりやすかったからです。

私の通塾はGSクラスから始まりましたが、少し気がゆるんでしまい、6年生の始めに

〇 クラスになりました。私は国語と算数が得意でしたが、社会と理科が足を引っ張っていました。そんななか、中学入試判定テストで、清心の合格まで、あと1点の時がありました。それが悔しくて頑張ってみようと思いました。

苦手な理科はSTEPを頑張りました。すると次の中学入試判定テストでは清心の合格ラインより、プラス19点も上がりました。苦手な科目でも頑張れば合格に近づくのです。

入試当日は緊張せず、リラックスできました。緊張したら、深呼吸をおすすめします。また、入試会場には、白いダウンを着られた大木スクールの先生方がいらっしゃり、頑張れるように、励ましの言葉をかけてくださりうれしかったです。試験当日は、休憩中にチョコレートなどの軽食を食べるとリラックスできました。寒いので暖かくして行った方がいいと思います。

大木スクールの先生方、とても感謝しています。ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

この度は、娘を志望校合格に導いてくださった、大木スクールの先生方に心より感謝申し上げます。

中学受験を決心して、親として心掛けた3箇条があります。

- (1) 親がテストの結果に一喜一憂しない
- (2) 丸つけは親がする(特に漢字と社会)
- (3) TODO リスト作成などのスケジュール管理

勉強内容は先生にお任せし、この3箇条を中心に娘のサポートに徹しました。プチ反抗期に突入していた娘とは、ぶつかる事もありましたが、良い距離感が保てたと思います。

また、娘は大木スクールが大好きで、休みたいと一度も言った事はありません。先生方の授業は楽しく、帰って来てからよく、授業のダイジェストを話してくれていました。暗記が苦手な娘は、仲間と励まし合いながら、再テストを受ける様子もしばしば見られ、頼もしく感じられました。このように、大木スクールの先生方の質の高い授業と志の高い仲間との切磋琢磨は、娘にとっての財産です。

最後まで頑張れたのも、大切なお友達と大木スクールの先生方のお陰です。本当にありがとうございました。

STORY24：競争心



学院・修道・城北中学校 合格

(千田小学校 男子)

この春、ぼくは第1志望校に合格することができました。ぼくが合格できた理由は4つあります。

1つ目は、兄に対して競争心を抱いたことです。兄もぼくと同じ第1志望校に合格したので、自分もしないと恥ずかしいと思い、たくさん努力しました。他にも、去年の兄を思い浮かべることで、過去の自分と比べて目標をもち続けることができました。

2つ目は、授業後の算数の補習をすべて受けたことです。おかげで得意科目の算数は安定した成績を最後まで取ることができました。

3つ目は、ぼくは6年生の夏休みまでに、社会の暗記テストを少ししかやっていませんでした。このままではさすがにやばいと思って、夏休みから暗記テストにこつこつと取り組み、受験までに終わらせました。そうすると、社会の点数が上がり苦手な気持ちが少しやわらぎました。

4つ目は、暗記テストをすべて合格してもらえた入試必勝編のプリントを一生懸命覚えたことです。実際にこの中から似た問題が入試に出たので、テスト中に「よし！！」と心の中で思うことができました。

正直大木スクールで大変だなと思った時も何度かありましたが、それを乗り越えて合格することができて先生方に感謝の気持ちでいっぱいです。

【ご家族のコメント】

大木スクールには長男と次男の受験で6年間お世話になりました。

6年の初めに成績が落ちて個人面談の呼び出しを受けた時はとてもショックを受けていましたが、先生方のアドバイスや励ましの言葉のおかげで、辛い時期を乗り越えることができました。受験当日も先生方に声をかけていただき、引き締まった表情で会場に入っていく姿を見て、ここ数年での成長を感じました。

また、次男にとって産まれた時から側に居る長男というライバルの存在も良い刺激になったようで、お互いに成績表を盗み見しては、「僕の方が成績が良い」など、日々、小競り合いを続けていました。

兄弟ともに志望校合格へ導いて頂き、ありがとうございました。

STORY25：体調とのたたかい



ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(仁保小学校 女子)

国語では漢字や知識を、社会では小テストに力を入れ、理科ではHOP、STEP、JUMPを頑張りました。特に、自分の苦手なところは繰り返し行いました。算数は、ミスが多かったので、繰り返しテキストを見たり、たくさん問題を解きました。暗記物は、裏紙などに、何回も書いて覚えました。小テストがある日は、友達と問題を出し合って、丸暗記を防ぎました。みんなはあまりやらない方がいいかもしれませんが、自分は、インターネットなどで息抜きをしていました。しかしそれも受験が近くなると、見るものが少なくなりました。入試が近くなったら、テキストなどを見返し、気を引き締めることが大切です。また、風邪やけがをしないことが、大切だと思います。お母さんや、お父さんは、お弁当や勉強に付き合ってくれたのでとてもうれしかったです。

【ご家族のコメント】

4年生10月中旬から入塾。他塾も検討しましたが、大木スクールの体験の雰囲気や、ハイレベルな勉強が面白そうだと娘が気に入ったので入塾しました。

先生も相談しやすく、先生みなさんが親身に関わってくださり、大木スクールに入塾してよかったです。

保護者会の内容の必要な箇所を娘と共有し、先生が言われた通りに実行するよう心がけていました。それで、途中からですが、プリントの管理、整理整頓などを一緒に行い、宿題のチェックをもしはじめました。また、6年前半までは、暗記物が苦手な娘のミスを見直すこともしていました。勉強に関しては、徐々に素直にやらない娘と衝突することもありました。そんなときは、様子を見て、先生に相談していました。最終的に、娘の勉強スタイルは、コツコツ派ではないのだとよくわかり、今後の勉強スタイルを考える良いきっかけにもなりました。受験直前の12月中旬ごろからは、娘のスタイルを尊重し、ストレス発散も考え、すべてやりたいようにさせることにしました。それまでは、時間を決めてやっていたYouTubeやゲーム、本を読んだりお出かけしたり、一切口を出しませんでした。娘の性質を考えてとったこの行動は、結果的には、正解だったと感じています。

また、持病持ちなので、Zoom授業になることも多かったです。特に、12月末から極度の貧血で、起き上がることがままならぬまま迎えた安田の受験。さらに、女学院受験の後に、また極度の貧血に陥り、受験するか悩まざるをえなくなった清心。体調が完全復活しないままのぞんだ広大受験。頑張ってきたことが無駄になるのだけは避けたいと気が気でなかつ

たです。通塾を通し、いろんなことがありましたが、よく頑張ったと思います。

次女も、長女の受験で我慢ばかりで、泣き出すことも。本当によく頑張ってくれました。

最後の最後まで、心配をして下さり、相談に乗ってくださった先生方に感謝の思いでいっぱいです。本当にありがとうございました。

STORY 26：難関校への挑戦



豊島岡・広大附属・ND 清心・女学院・安田中学校 合格

(安田小学校 女子)

私は、4年生の時に大木スクールに入塾しました。

初めは勉強があまり得意ではありませんでした。週テストはだいたいCコースで、一時期はBコースの時もありました。レベルの高いZクラスでやっていくのが精一杯でした。それでも、Zクラスでやっていけるように基礎はおろそかにせずにコツコツと努力していました。その努力のおかげで、5年生の最初からSコースに上がることができました。5年生になり、授業の内容が難しくなっても算数は基礎から始めて、できるようになってから、難しい問題に挑戦しました。社会や理科の授業では、覚えなないといけないところを聞き逃さず、ノートに書くようにしていました。それを6年生になってからも続けていたので合不合格判定テストでも成績が安定していました。夏期講習の後に難関校対策の授業に参加するようになりました。はじめは、難関校の受験に不安がありましたが、途中から難関校対策の授業が楽しくなりました。難関校の過去問で高得点が取れると嬉しかったです。入試が近づき、成績が安定しなくなり、模試でも志望校の合格ラインにとどいていないこともあり、くじけそうでした。それでも、最後まで諦めず、全力で勉強に取り組みました。志望校の入試日は緊張していましたが、自分の力を信じて、全力で試験に臨むことができました。合格とわかったときはとても嬉しかったです。

先生方のおかげで最後までやりきることと志望校に合格することができました。本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

息子が大木スクールを卒業した後、入れ違いで娘は通塾を開始しました。

通塾生活が始まった頃から、コロナウイルスの感染拡大の影響で対面授業が難しい状況になったこともありましたが、Zoom や四谷大塚ナビを取り入れたりと、先生方も懸命に対応してくださりました。

最初の1年間は、成績にかなり波がありましたが、自分なりにどうすればいいか、考えな

が勉強を進めていたようです。元々、コツコツと根気よく何事も取り組むタイプだったので、テスト後の復習と今日のコラムをきちんとしているかだけは、チェックをしていました。

地道な努力の成果か、成績も順調に伸びていき、6年の9月からは、難関校対策の授業に参加することになりました。最初は、エンジン全開といった感じで参加していましたが、次第に気づかないうちに疲れがたまっていたのか、体調不良を訴えることもありました。そのせいか、これまで安定していた成績もこの頃下降気味になりました。私は、心配で思わず、難関校対策はいつ辞めてもいいから、無理はしないように言いました。しかし、娘は最後まで頑張りたいと力強く言い、本当に最後まで全力で受験に挑みました。

結果、第一志望に合格、県外受験でも結果を出すことが出来ました。

兄妹で6年近くお世話になり、2人ともに第一志望校へ導いていただきました。本当にありがとうございました。

STORY 27 : 3年間の努力



修道・城北中学校 合格

(大河小学校 男子)

僕は3年生の夏期講習会が楽しかったからというきっかけで、3年生の秋に入塾しました。先生からのアドバイスもあり5年生になって週テストを始め一週間の授業の理解度を深めることができました。6年生の夏期講習までは漢字テスト、週テスト、暗記テストなどの目の前のテストをコツコツと頑張ることで苦手科目の点数を少しずつ取れる様になりました。6年の夏期講習に入ると理科では「step」、社会では「Gバイブル」、国語では「四科のまとめ」で基礎を固め、夏期講習後の合不合と組分けに備えました。しかし、結果が思うようにならず悔しい思いもたくさんしましたが、その度に先生が声をかけて下さり頑張ろうと思える様になりました。家では社会の四科のまとめの公民・地理・歴史と理科の週テスト問題集の上・下を、のこりの6か月のうち4か月で復習しました。そして、入試直前では過去問を沢山解き良い点数が取れた時は少し自分に自信がつかしました。入試当日は想像以上に緊張しましたが待っていてくれた先生方の激励の言葉を聞いて、良い緊張感に変えることができました。そして、無事に志望校に合格でき時は自分の3年間やってきた努力が報われたと思って嬉しかったです。僕がここまで努力できたのは塾の仲間や色々なことを教えてくださった先生方と支えて来てくれた家族だと思います。この努力を忘れず中学校でも頑張りたいです。

【ご家族のコメント】

コロナ禍の中、さらにインフルエンザが同時流行している中で、健康や体調とも気を配りながら闘っていた様に思います。親としてサポートしていく中でよく迷い模索しながら、我が家なりの毎日を送りました。

印象に残っている事は、プレミアム模試で合格がもらえなかった帰り道、夫婦で自転車で帰ってくる息子を途中まで迎えていたのですが、あまりのショックからか、私たちに気づかず通り過ぎ帰宅してしまった事です。

しかし、塾では息子のやる気を引き出す言葉掛けを丁寧にしてくださっていたお陰で、しっかり前を向くことができました。家庭での勉強方法を改め、苦手科目の理科はSTEPを反復とアウトプットする事を心がけました。国語はグループ個別で志望校別の沢山の問題をこなし、心情問題の解き方のコツ、記述や抜き出しの方法を丁寧に教えて下さいました。わからない事はすぐに自分から先生に質問する事などをすると、中学入試判定テストで思う成績を出すことができました。最も心強い事実として、志望校前日の対策授業での問題が受験に出た事です。大木スクールには精鋭の先生方がおられ心強いです。妹もいますが引き続きよろしく願いいたします。

その妹に沢山の協力（我慢）をさせてしまい、受験に対してマイナスイメージを持たせてしまったかなと感じていたところで入塾、大木の先生の面白い授業で私も受験したいと言った時は、初めは親子の受験でしたが、妹も応援する様になり家族、大木スクールのやる気を高め合える仲間、受験当日入室前ギリギリまで熱い激励の言葉で応援して下さった大木の先生方、と同じ目標に向き合えたことは大変な力となりました。親にできることは子どもを信じ、見守り、応援することでした。これがこれほど難しい事とは・・と痛感した受験でもありました。

合格はもちろん嬉しいのですが、出来る以上の努力を積み重ねた経験が、息子にとって大きな財産だと嬉しく思っています。

息子にはこの貴重な経験を忘れずにこれからの可能性を広げ人生を楽しんでほしいです。

大変お世話になりありがとうございました。

STORY 28 : 計算と暗記の苦手をのりこえる



学院・修道・城北中学校 合格

(皆実小学校 男子)

僕は小学4年生でSクラスに入塾しました。最初は右も左もわからず塾に通っていたという感じで、4年生の記憶はほとんどないのですが、5年生はGSクラスからのスタートでした。5年生はそれぞれの教科で基礎的なことを習う大切な時期です。しかし、僕はその大切な時期の夏ごろにOクラスに落ちてしまいました。その悔しさもあり、ぼくはGSクラスに戻ろうと一生懸命勉強し、秋にはなんとかGSクラスに戻ることができました。

しかしまだ分数の計算も苦手で、成績は安定しません。また、5年からは社会・理科も始まり、社会の暗記テストも開始されたのですが、そのころ僕はそんなに暗記が得意ではありませんでした。

6年生になって社会の暗記は本格的になりました。僕は必死の思いで、すべての暗記テストに合格し、歴史年表をゲットしました。そんなふうに必死に暗記をしていたら、得意ではなかったはずの暗記が5年生のころよりもできるようになりました。6年になると大木スクールに通う日が多くなり、夏期講習では、学校がないなかで大木スクールが学校の代わりのようなのでした。僕はそのころに、暗記の苦手に続いて分数の計算の苦手を克服し、算数を得意科目とすることができました。

そんな中、9月になると日曜特訓が始まりました。いろんな学校の過去問を解きました。そして冬、ぼくは全ての科目で学院のラインを超えることができるようになり、入試必勝編1・2をゲットすることにも成功しました。このことから「このままいけば学院に合格できる」と自信を持つことができました。入試直前にはさらに大変になりましたが、その試練を乗り越えて僕はさらに自信をつけていきました。そしてお守りをもらい、城北、修道、そして学院に合格することができました。

大木スクールの先生方、今まで本当にありがとうございました。入試の日にももらったお守りや合格消しゴム、そして大木スクールで勉強した思い出は一生大切にします。今まで本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

大木スクールに入塾した4年生は、そろばんやスイミングなどの習い事もやりたいという本人の思いを尊重し、2教科だけ、とにかく国語と算数をしっかり身につけてほしいとSクラス(土曜クラス)を選択しました。5年になり、本人も書いているように、Oクラスになったことがきっかけで勉強への姿勢が変わったように感じます。保護者会で5年生の夏

休みの学習が大切だと先生方がおっしゃっていたので、塾が終わった後、算数と理科を中心に苦手な単元を自宅でも学習して少しずつ苦手な単元が減っていきました。6年生になると、「学院に行きたい」と自ら第一志望校を決め、各教科の暗記テストに合格できるよう自分で予定を立てて学習していました。良い点を取ると、文具券を貰えるというのもやる気の一つだったように感じます。

6年生になると夏期講習から秋の日曜特訓、冬期講習と次第に受験モードになり、過去問を解くことも増え、また、入試と同じようなスケジュールで模擬受験の経験をしたことで、実際の試験当日のイメージがより明確にできたのではないかと感じます。たくさん過去問を解き、模擬受験もしていたこと、そして先生方の応援とお守り、そしてカイロのおかげで当日はさほど緊張しなかったようです。

受験直前は一緒に同じゴールを目指す友達、そして試験当日まで応援して下さった先生方に囲まれ、いつも生き活きと勉強していたように感じます。大木スクールの皆さんには感謝の気持ちでいっぱいです。3年間ありがとうございました。

STORY 29：何より良かった個別指導



修道・AICJ 中学校 合格

(袋町小学校 男子)

この度、僕は第1志望の中学校に合格することができました。

第1志望校に合格できた理由は、算数は基礎力を定着させたことです。算数の達人を解いて、わからなかったら復習を繰り返していました。

国語は漢字と言葉知識を覚え、記述は気持ちを書くというのを意識しました。

理科は、直前はずっとSTEPを暗記していました。

社会は、四科のまとめで、地理はその地方の都市を覚え、歴史は直前には年代を暗記していました、他には世界の国々の特徴などを覚えていました。

そして、入試の最中や前にやっておくべきことを書いてみます。

初めに、あまり遅くまで勉強をしないことです。自分は、勉強してたらいつの間にか12時から深夜1時まで起きていたこともありました。塾のない日は最低夜9時半には寝ましよう。

また、入試前日の夜は緊張して途中で12時25分に起きていました。緊張しているときこそ、しっかり落ち着いて寝ましよう。

次に、受験票、筆記用具、時計、などの準備を早めにおきましょう。準備が遅れると間に合わないかもしれません。

ここまでこられたのは先生方のおかげでした。ありがとうございました。

【ご家族のコメント】

子供が大木スクールに通い始めたのは、5年の春季講習からと他の人と比べると遅れてのスタートでした。初めて受けたテストの成績を見て、どうなることかと心配しました。5年生の夏休み前までは宿題を全てやるのが難しく、どのように勉強を進めていけば良いのかを先生に度々質問させていただき、先生から子供に直接アドバイスをしてもらうことで素直に聞き入れた様です。

5年の秋頃から少しずつ成績は上がってきましたが、その後伸び悩みました。

しかし、本人の第1希望の中学へ行きたい気持ちと勉強を続ける意欲は強く、嫌がることなく塾へ通うことを継続することで、6年生の夏休み明けぐらいから何とか頑張れば第1志望合格も見えてくる位置になりました。

大木スクールで何より良かったと思ったのが、算・理の個別指導と国語のグループ個別があったことです。塾の教材と教え方で個別に対応してもらったのは大変助かりました。5年生の間は週1回、6年生の秋からは週2日の個別指導、国語グループ個別での先生たちの子供へのアドバイスや声かけによって自信がついたようです。

共働きで親は勉強を見ることはなく、宿題などの声かけや生活環境の整備ぐらいしかしてやることはできませんでしたが、中学受験勉強を通じて子供の自主性と成長が見られたのが一番の喜びでした。お世話になりありがとうございました。

STORY30：だんだん本気に…！



修道・広島国際学院中学校 合格

(宇品東小学校 男子)

僕が大木スクールに入ったのは、小学4年生の夏期講習でした。

僕の目標は塾と空手を両立することでした。入った当時は、空手ばかりを優先して塾の宿題もあまりしていないので成績も上がらないままでした。

しかし、小学5年生の組分けテストでたまたまいい点を取れたことをきっかけに、勉強が楽しくなり、授業で積極的に手を挙げたり、その日の復習や社会の暗記を自らやったりとだんだん本気になる事ができました。

その様子に大木スクールの先生が気付いてくれて、僕に色々なアドバイスをしてくれました。そのおかげで修道の判定が安定してくるようになりました。

入試の日まで健康に気を付けながらも勉強をしっかりと、当日は先生の温かいアドバイスをもった結果、無事合格することができました。

2年半僕を支えてくれた先生方、本当にありがとうございました。

【ご家族のコメント】

「空手部がある中学校に行きた〜い！」

受験の始まりはこの一言でした。

「ホントにやるの？ お受験だよ？ 塾に行って勉強しなくちゃなんないよ？」

基本、何においてもためらうことなく挑戦する子だったので、理解しているのかしてないのか…いくら聞いても「大丈夫〜！ やってみる〜！」の返答でした。

私達夫婦はもちろん、身内に中学受験なんてしたことない人ばかり…周りに聞ける人もあまりおらず、たまたま近所にあった大木スクールの夏期講習体験をさせていただき、そのまま入塾しました。

思った通り、全くついていけず、テストの点数は悪いまま…それでも本人はあっけらかん。宿題をやるように促すことはしても、強制することはなく、ゆったりやらなかったり…と、決して本気とは言えない親子でした。

そろそろ結果を出さないと…と思っていた5年生半ば、たまたま得意分野だったのか、いい成績を持ち帰ってきました。これがきっかけで本人の意識が変わり、私達の向き合う姿勢もようやく変わりました。

本人が第一志望としていた中学校の情報は、大木スクールにはありませんでしたが、日頃の授業のおかげで基本的な知識からしっかり定着していつているようでした。

過去問は自分で調達して家で解き、わからない問題を個別のときに聞き、繰り返し解いて自分のものにしていきました。

面接もある学校であったため、お忙しい中、先生に時間をいただき、練習に付き合ってくださいました。

やる気のある良い親子ではありませんでしたが、本人の目標を優先して見守っていただけたと思っています。また、中学受験という同じ目標を持って共にたたかう仲間にも恵まれ、最後まで頑張り抜くことが出来ました。

先生方はもちろん、ここで知り合えたお友達にもとても感謝しています。

二年半という短い時間でしたが、大変お世話になりました。ありがとうございました。

STORY31：いつもの感覚で



広大附属・ND 清心・女学院・安田・AICJ 中学校 合格

(安田小学校 女子)

私は小学校受験の時から小学校6年生まで、ずっと大木スクールに通いました。5年生からは、ずっとGSクラスで、結局一度もZクラスに上がりませんでした。また1年生の頃は受験を意識せずに楽しく通っていましたが、だんだん現実が厳しいことが分かってきました。個別を取って分からないところを習っても算数が伸びず焦っていましたが、追加で計算を毎日2ページし続けたところ、この効果が出たのか、受験の直前になって、点数が上がってきました。とはいっても、いい時と悪い時の差が極端に激しかったので、受験の時にはいい時が当たりますようにと思っていました。国語は低学年の時得意でしたが、最終的には良くもなく悪くもない位で安定していました。社会は暗記に苦労し、なかなかテストに合格できないまま本番を迎えてしまいました。最後まで判定も悪く、自信をもって志望校を口にできませんでした。このような状態だったので、大変結果には驚いていますが、最後まであきらめずに大木に通って良かったという気持ちでいっぱいです。これまでの試験で、私は面接以外で緊張したことが一度もなく、力を出し切ることだけ目標にしていたのですが、3日連続の入試もいつもの感覚で受けることができました。先生方の試験会場に入る前の応援もとても力になりました。大木スクールの先生方、ありがとうございました。中学校に行っても頑張っていきます。

【ご家族のコメント】

長い間大変お世話になりました。大木スクールは、先生と生徒の距離が近くて、アットホームなところ、先生方が熱心で、分かるまで付き合って教えてくださるところが良いところだと思います。また、授業時間の前後にも自習室で勉強できるので、隙間時間を宿題や暗記に使うことができ、親としては助かりました。塾からいただくプリントやテストの復習をする時間がないことが常に問題でしたが、面談で、前から復習するより、今学習しているところをとにかく頑張るというアドバイスをいただいておりますので、とにかく来たものをこなすしかないという割り切るようになりました。最終的には、少し伸びてきたかなという程度で受験に突入しましたが、これまでやってきた努力において、大木スクールは他には絶対に負けないと思っていたので、塾での成績はともかく、自信を持って受けてみたらいいと言っていました。

塾では3連戦の受験日にまで翌日の試験対策があり、最後の最後まで鍛えていただきました。試験会場で先生にお会いして試験の注意を聞いてから入場する際には、とてもリラックスしていて、子供と先生の絆を感じました。結果をもらって、親も子もびっくりしましたが、最後に背中を押してくださったのは間違いなく、先生方だと思います。ありがとうございました。

STORY 3 2 : あきらめない心



広大附属・学院・修道・AICJ・城北中学校 合格

(附属小学校 男子)

僕は1年生の後半からハイレベルに通っていました。

授業は楽しく聞けていても、ほとんど宿題もせずにいたのでテストの点数も悪くクラスでも最下位くらいに落ちてしまいました。それでも4年生の頃はZクラスでしたが、そのまま気合が入ることなく、5年生の終わりにはとうとうOクラスになってしまい、先生と父と僕の3人で面談することになってしまいました。そこで父が「次でGSクラスに上がらないと塾を辞めさせる」と言い、僕はさすがにまずい！！と思い、春期講習で算数の個別授業を受けました。そこで算数と理科を徹底的に勉強し、授業中の理科の暗記テストや国語の小テストもクラス担任の先生に支えられ全て合格させ、やっとのことでGSクラスに戻ることができました。

そこからは成績はどんどん上がっていき、夏休み明けのテストでは組分けテストでSコースにまで上り詰めたのですが、そこでまた調子に乗ってしまい、次の学院プレ入試では不合格の判定が出てしまい、帰り際には先生に「Sコースに行って調子に乗ってるんじゃないの?」と言われてしまいました。でも、その言葉が凶星だったので、Sコースからは落ちてしまったけれど、結果的にそのことで気が引き締まりほとんどCコースを維持することができるようになりました。

また、苦手意識が強かった社会も先生の応援のおかげで暗記テストも最低ラインまで合格することができ、GSクラスのみならずはできるようになりました。

そして5年生までは最大の弱点だった国語も、先生のご指導のおかげで何とか偏差値55～60くらいまで上げることができました。得意科目の理科も最後は先生にも少し褒めてもらえるようになり、とても励みになりました。

そして、かなり自分に自信がついた状態で修道の試験日を迎えました。

前受験で2校すでに受験していましたが、本命校を含む3日連続の試験の始まりに、この日が一番緊張していて、足もガクガクしていました。

しかし、試験会場で大木スクールの先生達と最後に話すことで緊張がほぐれ、落ち着きを取り戻すことができました。

僕は最終的に良い結果を残すことができ、大木スクールの全ての先生にとっても感謝しています。ありがとうございました。

受験生のみなさん、クラスやコースが変わっても諦めずに頑張ってください。

【ご家族のコメント】

小学一年生になったばかりの頃、「友達がみんな通っているから僕も大木スクールに行きたい！」と言い出したのが大木スクールに通うようになったきっかけでした。

しかしながら塾には楽しく通うものの、家では全く宿題をしない様子に親としては試行錯誤の日々でした。

スイッチが入ったのは6年生の春だったと思います。

「大丈夫！今からでも間に合います」

「必死で勉強したら附属に合格できるよ」

「彼なら絶対3校全て合格できます」

先生方のお言葉を信じて本人は常に前を向いて目標に向かって進んで行きました。

そのころから塾から疲れて帰ってきても「やっぱり勉強が面白い！」「楽しい！」とよく口にするようになりました。夏以降、親の方が息切れしそうでしたが、それでも補習授業やグループ個別の授業に積極的に参加し頑張る姿に、頼もしささえ感じるようになりました。塾で集中して勉強し、良い仲間に出まれ、目標に向かって突き進んだ12歳の冬は息子の人生において何ものにも代えがたい貴重な経験になったと思います。

最後になりましたが、終了時刻が分からず確認の電話をさせてもらったり、お弁当を届けさせてもらったり、伝言をお願いしたりと、本当に些細な質問やお願いにも嫌な顔一つせず対応して下さった事務の先生をはじめ大木スクール全ての先生方には感謝の気持ちでいっぱいです。親子共々支えていただき、第一志望合格へと力強く導いてくださり、ありがとうございました。

大木スクールにご縁をいただけて本当に良かったです。